

K.S.J.

KAGAWA SHINREN JIHO
KAGAWA SHINREN KUMIAI BENGOKAI

香川県森連時報

32

令和2年1月発行(第2回/1月・7月)

新
年
謹
賀

新
年
の
ご
挨拶

森は地球の財産です。

JForest

会長新年のご挨拶

香川県森林組合連合会 代表理事会長 木村 薫



新年明けましておめでとうございます。

森林組合の役職員をはじめ組合員の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げますとともに、平素より本会の業務運営につきまして格段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、5月1日に新天皇が即位され、年号も平成から令和となったほか、10月1日から消費税率が10%になるなど、何かと節目の年になると同時に、9月にはラグビーのワールドカップが日本で開催され、日本は初めて8強入りを果たすなど、大きな話題となりました。

また、昨年9月に台風15号、10月には台風19号が上陸するなど、全国各地で大きな自然災害に見舞われ、あらためて森林の持つ公益的機能の高度発揮と、森林を適切に維持管理することの重要性を痛感させられました。被害を受けた皆様方には謹んでお見舞い申し上げますとともに、1日も早く復興されますことを心から祈念申し上げます。

このように社会情勢が大きく変革するなか、我々林業界においても、適切な経営管理が行われていない森林を、意欲と能力のある林業経営者や市町村に委ねる仕組みとして「新たな森林管理システム」と、そのために必要な財源として森林環境譲与税の交付が開始されました。

我々はこのシステムと財源を活用して、これまで培ってきた経験を活かし、都市部から山村に至るまで、各地で森林を適切に維持管理するとともに、この貴重な財源を活用する組織として、社会に信頼される組織でなければなりません。

我々森林組合系統は、平成28年度より系統運動「JForest森林・林業・山村未来創造運動～次代へ森林を活かして地域を創る～」に取り組んでおり、「効率的かつ安定的な林業経営による、組合員の経済的利益の向上」、「林業・関連産業の活性化による、地域社会の活力創造」、「森林の持つ多面的機能の高度発揮による、国民生活への貢献」の3点を目標に掲げております。

本県におきましても、組合員・社会に信頼される開かれた組織づくりとして、コンプライアンス態勢を強化するため、同研修を通じて役職員の意識や能力の向上を図ってまいりましたが、新たな制度の開始を踏まえたくて今後も継続して取り組んで参る所存です。

最後になりますが、会員の皆さんをはじめ関係機関各位のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、組合員の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

謹
賀
新
年

香川県森林組合連合会

代表理事会長 木村 薫

副会長理事 三角 正博

代表理事専務 道久 工

理事 松浦 可稔

理事 五所野尾恭一

理事 三宅 義明

理事 井上喜代文

理事 宮本 欣貞

理事 大西 洋造

理事 小野 隆

理事 眞部 康寛

代表監事 辻 烈

監事 大塚 喬三

監事 佐々木 博

報告 県知事及び県議会に要望書提出

10月23日（水）本会と県内森林組合長会議は、低迷が続く林業情勢の中で森林整備に必要な予算の確保、県産木材の利用促進・里山再生と里山資源の利用促進・森林環境譲与税の活用について、浜田香川県知事並びに大山香川県議会議長に要望書を渡し陳情を行った。



報告 2019ウッディフェスティバル& 森とみどりの祭典に参加

10月13日（日）、市内のイベント会場「サンメッセ香川」において、「森やみどりと共にある暮らし」をテーマに「第32回ウッディフェスティバル& 森とみどりの祭典」が開催された。本会も香川県木材需要拡大協議会会員として参加し、「ヒノキDEわーくわーく体験」の山コーナーを担当し、来場者にヒノキの植栽体験やヒノキの間伐体験を実施した。当初予定していた12日（土）の行事は、台風19号の接近に伴って大雨警報が発令されることが予想されたため全て中止となったが、13日（日）には多くの来場者が訪れ、会場内は熱気に包まれた。



報告 高松空港に木製品を贈呈

本会と農林中央金庫高松支店によるCSR活動で、開港30周年を迎えた高松空港に県産ヒノキで製作したベンチを寄贈し、12月15日（日）



に贈呈式が行われた。高松空港に木製品を贈呈するのは今年はじめてであり、本会の道久代表理事専務から高松空港株式会社の小幡義樹代表取締役社長に目録が手渡された。贈呈式で道久代表理事専務は、「高松空港を訪れる多くの方々に香川県産木製ベンチを利用していただき、木の持つ温もりや香りなど、良さを感じていただければ幸いです。」とあいさつを行った。

本会は今後も農林中央金庫高松支店と連携して、森林の持つ多面的機能の高度発揮のために、森林整備や木材を利用することの重要性をPRしていく予定である。

報告 令和元年度JForest全国森林組合代表者大会に出席

10月17日（木）東京都港区のメルパルク東京において令和元年度全国森林組合代表者大会が開催され、香川県内の森林組合役員11名が出席した。大会はJForest森林組合綱領唱和、主催者挨拶、来賓挨拶、来賓紹介のあと表彰が行われ、香川西部森林組合の松葉義国作業班長が功労者表彰を、同じく香川西部森林組合の西山まり子係長が感謝表彰を受けた。大会は意見表明の後、5つの大会決議を採択し、参加者全員で力強く「がんばろう三唱」を行って閉会した。

大会翌日の18日（金）本県選出国会議員6名及び宮崎雅夫参議院議員に林業施策の陳情を行った。



報告 第43回全国育樹祭に出席

12月15日（日）秋篠宮皇嗣、同妃殿下ご臨席のもと、沖縄県宜野湾市の「沖縄コンベンションセンター」において「うけつごう 豊かな緑とみんなの笑顔」をテーマとして、第43回全国育樹祭が開催され、県内から森林組合関係者5名が出席した。今回の育樹祭は天皇陛下の即位に伴い秋篠宮ご夫妻が引き継いだ初めての育樹祭となり、沖縄県にとっては初の開催となった。

式典で秋篠宮皇嗣殿下は、10月に発生した首里城火災について「沖縄県の人々の心のよりどころともいえるべき首里城が焼失し、琉球王国時代の貴重な文化財が失われたことを誠に残念に思います。」と述べ、その上で、「かけがえのない豊かな森林を後世へ引き継いでいくことは、人類はもとより、地球上に暮らすあまたの生き物たちにとって大変重要なことと考えます。」とあいさつを行った。

式典では、国土の緑化に貢献した団体、個人の表彰が行われ、メインテーマアトラクションや異国情緒あふれるエピローグが披露され、最後に大会宣言を採択されて終了した。



報告 林業労働安全衛生研修会開催

11月13日（水）塩江町森林組合、20日（水）香川西部森林組合、26日（火）香川東部森林組合において、林材業安全技能師範 陶山芳伸氏を講師に迎え、林業労働安全衛生研修会を行った。研修会では昨年に引き続き、林業・木材製造業労働災害防止協会が作成した簡易リスクアセスメント記録書に基づき、グループに分かれて危険性又は有害性の洗い出しや、その低減対策を検討し発表を行った。総勢117名の林業事業体関係者が出席し、チェーンソー作業従事者については、振動特殊健康診断も行った。



特集

さぬき空港公園便り

本会がさぬき空港公園の指定管理に取り組んで8年目の今年度は、夏期は渇水のため例年より早く取水制限が発令され、2か月間噴水が完全停止したため、暑い時期に水遊びを楽しみにしてきた来園者の方には、大変ご迷惑をお掛けしました。また、昨年は台風8号が中四国に、台風15号・19号が千葉県など関東・東北地方に甚大な被害を発生させ、全国的には台風被害の非常に多い年となりました。

冬期は、まだまだこれからですが、例年になく暖冬傾向で、今年の県内での積雪は記録されておられません。県外でも積雪が少ないようで、スキー場などウインタースポーツ施設の多くが平常の営業ができない状況のようです。

今年度さぬき空港公園で開催したイベントの実績を報告させていただきます。



一輪車教室

7月20日に開催した、「一輪車教室」では16名の方に参加をお申し込み頂きました。今回も初心者の方が多く、学校で使うので少しでも乗れるようになりたいと強く希望している方もいて、熱心に講師の指導を受けていました。

「猛暑を吹き飛ばせ」と銘打って行う「真夏の雪遊び・夏休み宿題応援団」は8月4日に開催しました。イベント当日は、天候にも恵まれて公園全体では、1,178名の方々にご来園いただいたほか、四国新聞と読売新聞の取材があり、翌日の朝刊で記事の掲載をして頂きました。

お子様方にご大好評の噴水イベント「噴水でトレジャーハント」は、取水制限が7月から8月後半まで続いたため噴水が完全停止となり、9月以降に開催を検討しましたが、相次ぐ台風の接近により残念ながら中止としました。来年度は、ぜひ開催したいと考えております。



真夏の雪遊び



夏休み宿題応援団

11月3日(日)には「香川県障がい者グラウンド・ゴルフ交流大会」を開催しました。今回で3回目の開催となり、大変好評で来年も本公園で開催して貰いたいとの意見が多いため、次回も大会をサポートしてまいります。

同日、グラススキー場では、「グラススキー感謝祭」と、世界大会優勝経験者の新谷起世プロのレッスン会も開催し、今年も例年通り多くの方にご参加頂きました。今年から当公園のグラススキー場は、日本グラススキー連盟の検定会場として認定していただき、翌11月4日にグラススキー1級・2級の検定会を開催、当公園



グラススキー感謝祭

のスタッフ2名が検定を受験し、1級に1名・2級に1名が合格いたしました。今後も公園スタッフの指導力の向上を図り、グラススキーご利用の方々により安全に楽しんでいただけるように努めます。

11月23日(土)には例年人気が高く今年度で6回目の開催となる「健康ミニマラソン」を開催しました。昨年まで12月に開催しておりましたが、新天皇のご即位に伴い天皇誕生日が変更になったため、この日の開催となりました。申込者数は、132名で、当日飛び入りの参加者もいらっしゃいました。当日は快晴で気温も高く、下は小学生1年生から上は70代の方まで皆さん楽しくマラソンをして頂けたと思います。



健康ミニマラソン

今後の大きなイベントとしては、令和2年でさぬき空港公園が開設から30周年の節目を迎えることから、「さぬき空港公園開園30周年記念祭」として、令和2年6月にアジサイ祭りの開催を計画しています。カントリーゾーンとポートヒルゾーンに約2,000本の植栽を予定しており、当公園がアジサイの名所となるように整備を行って参ります。

グラススキー場の利用者増加対策としては、当公園のグラススキー指導員の育成や指導力向上のための研修会を11月5日に実施しました。上級者・中級者向けのグラススキー教室を毎月定期的で開催するため、インストラクター資格の取得を目標とし、より高度な指導ができるよう、リピーターの確保に努めていきます。

7月には、グラススキーゲレンデにおいて新規に中級者コースを開設いたしました。初級者コースに慣れた方のレベルアップと、傾斜の違いによる滑りを楽しめるようになっています。

公園の利便性向上に関しては、アドベンチャーゾーンの体験広場にあずま屋1基を設置しました。夏の暑さ対策としても大変好評で、さらにもう1基を設置する予定となっているほか、一輪車練習用の広場を補修する計画もあります。

公園のPR活動では、「さぬきこどもの国」「総合園芸センター」「高松空港」「香南アグリウム」の周辺施設との連携を促進してきました。具体的には、各施設のイベントの際の駐車場の貸出やリーフレット等の設置、イベント情報のやり取りを密に行って参りました。さらに今年は、周辺施設と合同で空港周辺施設の案内マップ(多言語対応)の作成を行っており、各施設で配布を開始しています。

さぬき空港公園では、現在毎年多くの来園者が見込まれる花見の準備を行っています。当公園は、隠れた花見の名所として年々花見客が増加しており、今年も3月下旬から4月中旬まで多くの花見客で賑わうと考えています。より来園者を楽しんで頂けるように準備を進めて参ります。花見時期の開園時間延長は、開花予報や開花状況を考慮して、ホームページ(<http://sanuki-airport-park.com>)やその他広告媒体で広報させていただきます。

最後となりますが、本会がさぬき空港公園の利便性の向上や、より良い維持管理業務を遂行できることも、関係各位の多大なるご支援やご協力によるものと深く感謝するとともに厚くお礼を申し上げます。これからも公園スタッフ一同適切な管理運営と県民サービスの向上に全力を挙げて取り組んで参りたいと存じますので、これまで同様にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

